

3つのちからでちばの食育を推進します

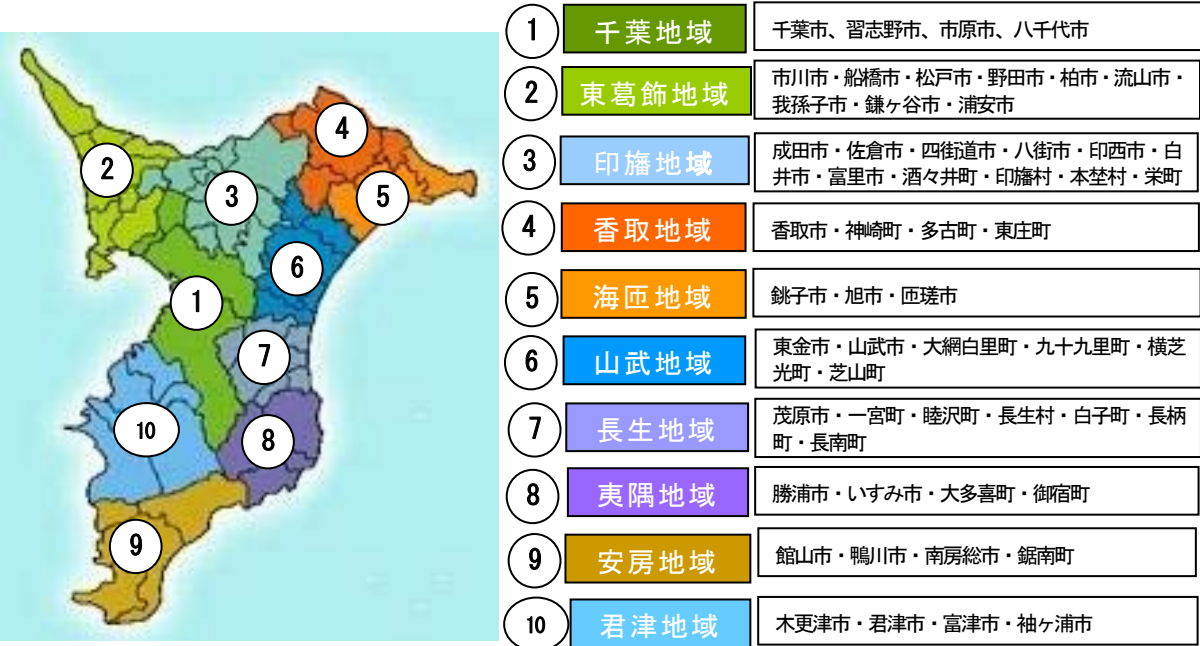
①ちばの食育を支えるちからを原動力に「県のちから（人材・食材・産業・文化）」を発揮してちばの食育を推進します。

〈ちばの食育を支えるちから：「ちば」の特長〉

- 豊かな自然と四季を通じ豊富な食材に恵まれた活力あふれる農林水産業県です。
- 食（住）と農が近接し、都市と農山漁村が共存する、「見ること」「知ること」「話すこと」、そして「体験すること」ができる地域環境を持っています。
- 地域色豊かな食文化や郷土料理、伝統的な食産業の歴史が息づいています。
- 「ちば」には、食育をサポートする意欲あふれる多くの人材や企業があります。
- 食に対して、おおらかで前向きな県民性を持っています。
- 県民運動への広がり萌芽となる地域に根ざした個々の活動が進んでいます。

②10の地域で「地域のちから（地域力）」を発揮した個性と活力あふれるちばの食育を推進します。

古くは、安房、下総、上総の三国からなっていた千葉県、今でも、地域によって異なった歴史や伝統が息づき、価値観やライフスタイルにも違いがあり、地域ごとに特徴があります。この計画では、県内を10の地域に分けて、関係者が連携・協働する体制を整え、地域の実情に応じた食育を推進し、地域の「人材」「食材」「施設」といった地域にある食に関わる財産をいかし、共通認識を持って、ちばの食育、地域の食育を推進していきます。



③千葉県が提案する「ちば型食生活」の実践を通して、「食」に関する「個人のちから」を高めるちばの食育を推進します。

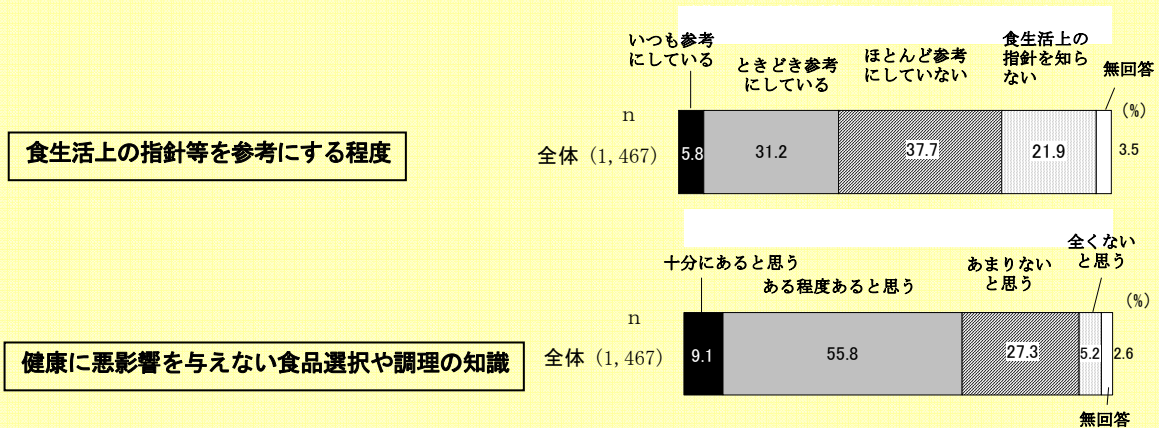
〈ちば型食生活とは〉

- (1)自然の恵みであり、新鮮で、おいしく、豊かで安心できる、ちばの食材につながる食生活
- (2)栄養バランスのとれた日本型食生活を基本に、ちばの食文化につながる食生活
- (3)よく噛み、味わい、ともに楽しむ食べ方で育ちにつながる食生活
- (4)「食」のリズムが「運動」や「睡眠（休養）」を含めた健康な生活リズムにつながる食生活という「ちば」の特徴をいかした食生活です。

〈ちば型食生活を推進するために〉

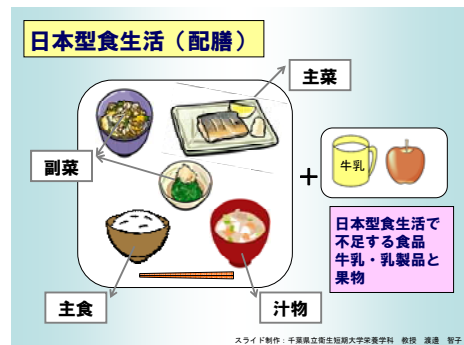
- (1)ライフステージに応じた、「わかりやすさ」、「取り組みやすさ」を考慮した、具体的な「ちば型食生活」の実践方法を提案し、県民 1 人ひとりの置かれた状況に配慮した健全な食生活の推進を図ります。
- (2)家庭のみならず、食育活動者や団体、学校給食、食品産業、観光産業、地域、市町村といった、「食」や「食育」に関わる様々な主体が連携・協働し、その取組において、あらゆる機会を通じて、「ちばの食材」「ちばの食文化」を大切にした「ちばの食育」を推進し、「ちばの豊かな食卓づくり」を県民運動として展開します。

《「食」をめぐる現状》



平成 18 年度第 32 回県政に関する世論調査結果

ちば型食生活食事実践ガイドブックと概要版



ちばの豊かな食材を使ったおいしいごはんをよく噛み味わう「ちば型食生活」を楽しく実践するための食事実践ガイドブックです。

日本型食生活の「配膳」を意識した食事を心がけることで、栄養/バランスが整ってきます。